

# 平成30年度の主な事業・経費

くらし

## 定住・住環境対策の促進

定住・住環境対策として導入した置戸町森と住まいの支援事業、住宅改修奨励事業は、多くの町民の利用が見込まれることから、合わせて1,300万円を計上しました。本年度は、制度内容を拡充させ、町内に増加している空き家住宅対策として、中古住宅の購入に対する補助を行います。

- ・置戸町森と住まいの支援事業 600万円
- ・置戸町住宅改修奨励事業 700万円

交通

## 地域巡回バスの拡大運用

平成29年度から14人乗りワゴン車2台を導入し、高齢や障がいにより通院や買い物が困難な方などの交通手段を確保するため、これまで運行していたへき地患者輸送車を拡大運用させています。本年度から町民ニーズに柔軟に対応できるよう「地域巡回バス」として運行方式を変更し、より一層の生活環境の充実を図ります。

- ・地域巡回バス運行事業 780万円

子育て

## 児童遊園地新設 紙おむつのゴミ袋配布

児童福祉関係では、町内に7箇所ある児童遊園地を再編し、中央公民館前庭に遊園地を新設するため、3,910万円を計上しました。また、新たな事業として、町内の乳幼児の保護者に対して、紙おむつを廃棄するためのゴミ袋を配布いたします。子どもを育てている世帯が充実した生活が送れるようハード、ソフトの両面で支援を図ります。保健衛生関係の新規事業として、北見市の産科医療機関へ通院する妊産婦に対し、交通費を助成するため53万円を計上し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。妊婦一般健康診査への公費負担などは、従来どおりに継続します。

- ・児童遊園地再編整備事業 3,910万円
- ・乳幼児家庭支援事業 33万円
- ・妊産婦安心出産支援事業 53万円

健康づくり

## 医療機関との連携強化

保健衛生関係では、各種検診や予防接種への助成を従来どおり継続します。

関係医療機関との連携を強化、医療設備の充実を図るため、置戸赤十字病院へ8,170万円の助成を行います。

- ・置戸赤十字病院医療施設充実事業 8,170万円

産業農林業

## 農業・林業の支援対策推進

農業関係では、道営事業として生産性の高い農業実現のため、農業用排水施設、区画整理などを総合的に実施する畑地帯担い手支援型事業として5,425万円を計上しました。

- ・小麦収穫機械導入事業 448万円
- ・釧北牧場人工授精施設塗装工事 140万円
- ・道営農業競争力強化基盤整備事業 5,425万円
- ・公社営畜産担い手総合整備事業 567万円
- ・小規模土地基盤整備事業 300万円

造林事業として1億1,874万円を計上し、下刈りや除間伐などの実施により町有林の整備に努めます。民有林については、未来につなぐ森づくり推進事業に対し、民有林振興事業補助金として1,452万円を計上し、造林や除間伐を進め、豊かな森林の育成に努めます。

新規事業としては、林業・林産業を行う事業者が機械を導入する経費に対して補助を行うため1,693万円を計上しました。近年林業従事者が慢性的に不足している状況を解消するため、雇用する事業者に対して補助金を支給するため323万円を計上し、林業の担い手確保を図り、継続した森林保全の維持に努めます。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの選手村の一部に本町の町有林の木材を提供することが決まったことから、木材の加工運搬費を計上しました。

- ・林業・林産業機械導入促進事業 1,693万円
- ・林業担い手確保・通年雇用支援事業 323万円
- ・造林事業 7,853万円
- ・置戸町民有林振興事業 1,452万円
- ・木材加工等委託事業 85万円